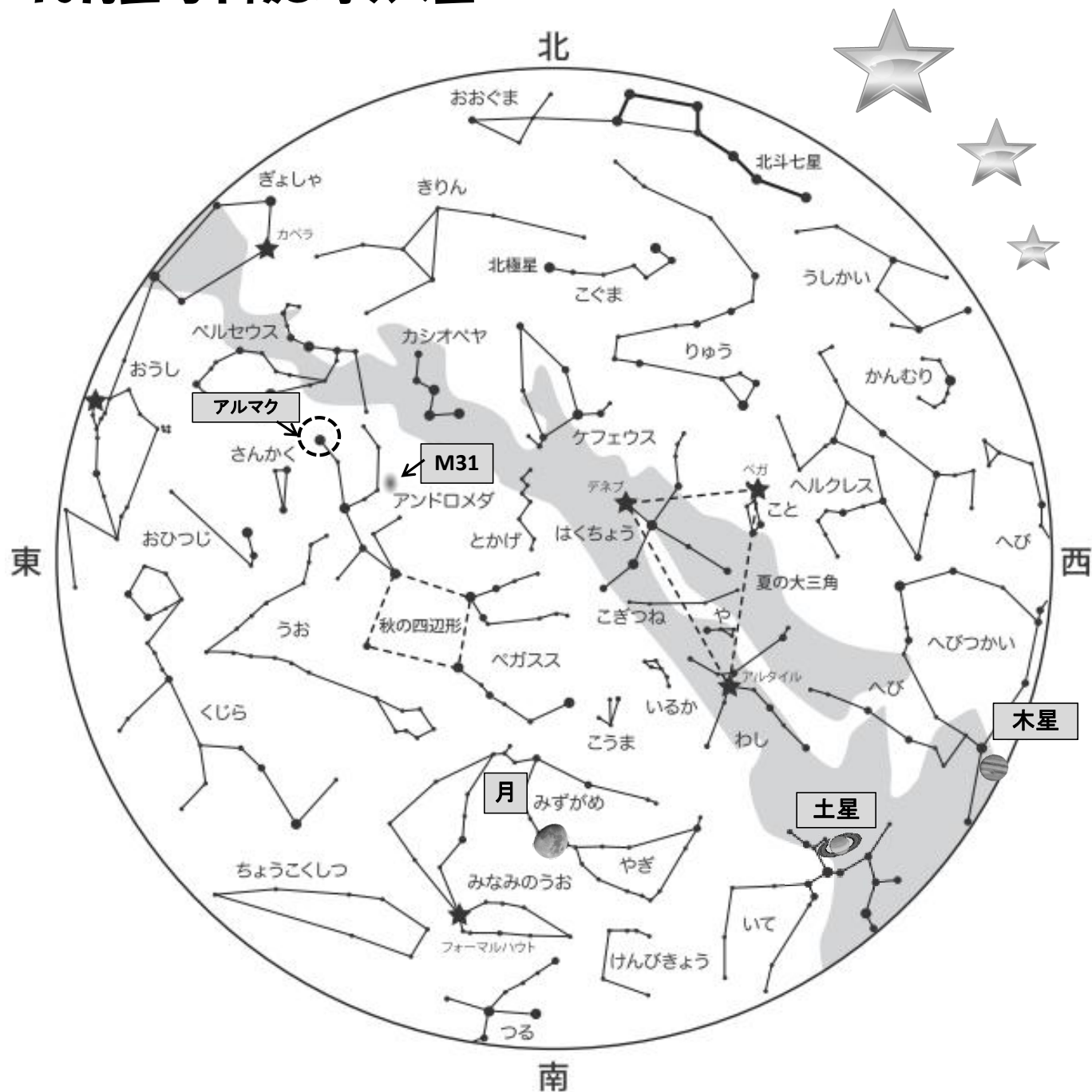


松江市立天文台～10月の天文教室～

令和元年10月9日

10月上旬午後8時頃の星



10月になり秋も深まってきました。紅葉の便りもすぐそこです。
夕方には夏の大三角が空高く輝いていますが、東からペガサス座とアンドロメダ座の星で作られる秋の四辺形が見えてきます。
南西の空に輝く木星や土星は、しだいに日没時の高度が低くなり、今月いっぱいが見ごろになります。

10月上旬午後8時頃の星空です。
月、木星、土星の位置は10月9日現在です。
この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、月齢10

月は地球の衛星で、その直径は3千4百キロメートルあまり、27日で地球の周りを回っています。月が光るのは、太陽の光を反射しているためで、地球、太陽との位置関係でその形が変わります。



土星

土星は私たちが住む地球と同じく太陽の周りをまわる惑星ですが、その様子はずいぶん違います。

土星はガスでできた惑星で、地面がありません。

直径は地球の9.4倍です。

土星を有名にしているのは、何と言っても美しいリングですが、その正体は数ミリから数メートルの氷や岩石で、厚さは10メートルほどと言われています。

土星



衛星タイタン

アンドロメダ座



アンドロメダ銀河M31

230万光年のかなたにある銀河です。

郊外に行くと肉眼でも雲のように見え、双眼鏡で楕円形の形が分かります。

二重星アルマク

アンドロメダの左足先にあり、アルマク(くつ)という名前が付けられた星です。

天体望遠鏡で拡大すると、2等星と5等星に分かれて見える美しい二重星です。

アンドロメダ座はくじら座(怪物ティアマト)のいけにえにされそうになったアンドロメダ姫の姿を表しています。この後、天馬ペガサスに乗った英雄ペルセウスがティアマトを倒し、アンドロメダを救い出すという壮大な物語が、秋の星座にちりばめられています。

天文のデータは主に天文年鑑から引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 11月6日(水) 20時から21時まで

(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)



★
MAC

Matsue Astronomy Club

松江星の会